



教育経済 常任委員会

委員長 門 真一郎

平成25年度 飯南町一般会計補正予算

がんばる地域応援総合整備事業 281万円

来島牧場が30頭の哺育牛舎を設置することに対し費用の30%を補助するもので、哺育牛舎を新設し、既設牛舎のスペースを確保し、搾乳牛を増頭することで、生乳生産量の増加を図る。



飯南ブランド確立推進事業 610万円

町内の飲食店が町内産高原野菜を活用した新商品の開発に助成を行うもので、国の雇用創出基金事業を原資とする。これを利用し、町内事業所は平成24年度まで28人の雇用をしたが、定着率が低く、また利用した事業所は偏っている。

雇用につながる事業運営を求め、福祉施設など深刻な人手不足を抱えている事業所に情報提供し、有効な活用がされるよう提案した。

アンテナショップ推進事業 5882万円

三次市にアンテナショップを開設するための費用。内訳は空調及び内装工事、及び備品費、店舗レイアウト詳細設計委託料、運営、P R、オープニング経費。

冬季にJA雲南管内から商品を調達することは仕方が無いが、基本的に野菜などは飯南町産を売らなければ意味が無い。生産者の高齢化で野菜等商品の調達が困難だ。頓原地区には「たたらば壹番地」へ出荷している生産者もあり、アンテナショップへ商品を送る余裕は無いのではないかとの意見があり。

生産者に周知を図り、JA経済センターと協力し、増産に努めると回答があった。

審査意見

アンテナショップ推進事業

今回の予算は設備及びオープニングにかかる経費に関する補正であるが、店舗内の産直部分に対する戦略が見えない。消費者の厳しい評価に耐えうる有機野菜や特産品の生産が急務であり、早急に生産者、関係団体等と協議し、新たな戦略的生産方法や綿密な生産計画を練るべきだ。

生産者は「ぶなの里」、「ぼたんの郷」などと重複して出荷することになり、生産が間に合わなくなる恐れがある。生産から販売まで一貫した管理が必要であり、体制の構築を急ぐべきだ。

また、今から10年の契約期間が終了した後、経営環境に応じたロードマップを作成し、目標を明確にしておく必要がある。



まちづくり条例検討委員会 設置条例

これまでの研修会等の経緯をふまえ、公募による町民参加を図るべきだ。議会基本条例との関連もあり、議員が委員に入れば町民枠が限られるので、10人の委員数は柔軟に対応するべきだ。町民の自主的かつ積極的な参加を促してもらいたい。

平成25年度 飯南町一般会計補正予算

緊急雇用創出事業補助金 910万円

県の補助事業であるが、その趣旨に合致しているのか、また、その事業による成果が検証されているのか、等について議論があり、実施する上での問題点の整理と追跡調査を求めた。

一般職人件費 2570万円

病院からの職員の異動による増ではあるが、国からの地方交付税が削減され人件費抑制を求められているおり、職員給与のカットを実施しないことへの疑問の意見があった。

これに対し、執行部から、これまでの人員や給与の削減努力により住民サービスへの影響は無く、残業手当等の削減に努めているとの回答があった。

平成24年度 飯南町一般会計補正予算

飯南町住みよい地域創造事業 110万円減

モデルとして先行実施した事業で、減額分は次年度に繰り越すが、計画づくりの難しさを指摘する意見があった。

本年度は町内全域で公民館単位での取り組みをすすめているが、複数の自治区の意見集約や、補助事業が終わる平成28年度以後も継続可能な仕組みづくりは難しい面がある。

しかし、地域課題を解決する有効な事業なので、適切な行政支援を行い町民に身近な議論を進めるべきだ。



谷自治振興会「せせらぎ号」の輸送活動

議会活動報告 [4月～6月]

- 4 2日 議会広報編集委員会:一般質問要約作業
4日 教育経済常任委員会視察研修:倉敷市
8日 議会広報編集委員会:委員会報告、紙面校正作業
12日 議会広報編集委員会:紙面校正作業

- 5 9日 議会運営委員会
15日 議会全員協議会
16日 教育経済常任委員会
20日 総務厚生常任委員会
21日 議会運営委員会
31日 議会運営委員会:6月定例会の提出議案、日程外の協議

- 6 4日 6月定例議会:本会議、町長提出議案の説明、質疑
7日 :本会議、一般質問
10日 :委員会審査
11日 :委員会審査
12日 :委員会審査
13日 :委員会審査
14日 6月定例議会:委員会審査

- 17日 議会全員協議会
6月定例議会:本会議、委員長報告、討論、採決
27日 雲南省飯南町事務組合議会臨時会
24日 議会広報編集委員会:一般質問要約作業
28日 議会広報編集委員会:一般質問要約作業